



JASDAQ

平成 29 年 5 月 15 日

各 位

株式会社アイデアインターナショナル
代表取締役社長 森 正 人

(コード番号：3140 JASDAQ)

問合せ先：取締役経営情報部長
松 原 元 成
(TEL 03-5446-9505)

(訂正・数値データ訂正)「平成 29 年 6 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕
(非連結)」の一部訂正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました「平成 29 年 6 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕
(非連結)」の開示内容につきまして、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお
知らせするとともに、訂正後の数値データを送信いたします。なお、訂正箇所につきましては、
下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の内容

訂正箇所「平成 29 年 6 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の 1 ページ

2. 配当の状況

(訂正前)

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 6 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29 年 6 月期	—	0.00	—		
29 年 6 月期(予想)				<u>0.00</u>	<u>0.00</u>

(訂正後)

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 6 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29 年 6 月期	—	0.00	—		
29 年 6 月期(予想)				<u>—</u>	<u>—</u>

(注) 平成 29 年 6 月期の期末配当予想につきましては、現時点で未定です。

2. 訂正の理由

平成 29 年 5 月 15 日の公表後に、記載内容に一部誤りのあることが判明したため、訂正するものであります。

以上



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 正人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	5,037	10.0	163	209.7	104	885.0	64	894.5
28年6月期第3四半期	4,581	5.5	52	55.2	10	78.0	6	59.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	10.92	
28年6月期第3四半期	1.10	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	4,155		675			16.3
28年6月期	3,633		617			16.7

(参考)自己資本 29年6月期第3四半期 674百万円 28年6月期 606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		0.00	0.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)					

(注)平成29年6月期の期末配当予想につきましては、現時点で未定です。

3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	25.0	340	86.0	274	84.8	264	18.1	22.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成29年6月1日付で、株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定です。上記では、平成29年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算出しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	6,138,675 株	28年6月期	6,134,700 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

29年6月期3Q	187,344 株	28年6月期	187,344 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期3Q	5,949,024 株	28年6月期3Q	5,899,656 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成29年6月期第3四半期累計期間(平成28年7月1日～平成29年3月31日)の業績は、前年同期平成28年6月期第3四半期累計期間の業績に比べて、売上は5,037百万円と456百万円の増収となりました。経常利益は104百万円と93百万円の増益となり、四半期純利益も64百万円と58百万円の増益となりました。

売上については、インテリア雑貨において、キッチン雑貨を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、前年同期売上を大きく上回りました。中でもデザイン性に優位性のある「ホットプレート」は引き続き売上を伸ばしており、「セラミックコート鍋」等のホットプレートのオプション商品も計画を上回る売上となりました。またトラベル商品ブランド「ミレスト」も前期に比べて直営店が増加したことにより、売上を伸ばし、売上高は5,037百万円(前年同期は4,581百万円)となりました。

利益については、今期は商品認知率を高める戦略に基づき、前期よりも広告宣伝費を拡大していますが、前年同期よりも自社商品売上比率が高くなったこと、デザイン関連手数料収入が増加したことなどから、利益率が45.4%(前年同期は42.0%)と大きく改善したことにより、営業利益は163百万円(前年同期は52百万円)、経常利益は104百万円(前年同期は10百万円)、四半期純利益は64百万円(前年同期は6百万円)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通り、ホットプレート等のキッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」等自社商品ブランドの売上が好調に推移したこと、デザイン関連手数料収入が増加したことなどから、売上高3,195百万円(前年同期は2,813百万円)、営業利益は755百万円(前年同期は352百万円)となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、3月に湘南エリア最大のショッピングモールであるテラスモール湘南にインテリア雑貨ショップ「イデアセブンスセンス」を出店、また広告宣伝により販売強化を進めているEコマースにおいて売上が前期よりも上回ったことから、売上高1,841百万円(前年同期は1,767百万円)と増加しました。営業利益については、Eコマースに関しては前述の通り戦略的に広告宣伝費を投入していることから、33百万円(前年同期は124百万円)となりました。

今後は商品開発において主要3ブランド「ブルーノ」「ミレスト」「テラクオーレ」へ選択と集中を行い、販売においては、インテリア雑貨ショップ「イデアセブンスセンス」+トラベルショップ「ミレスト」、またはインテリア雑貨ショップ「イデアセブンスセンス」+オーガニックショップ「テラクオーレ」等の高収益ハイブリッド型店舗を中心に積極的に出店を加速化し、新業態店舗ギフトショップを本格的に展開してまいります。また戦略的に広告宣伝を投入しEコマース販売強化を行うことで、より粗利率の高い販路の売上拡大を図り、収益拡大に取り組んでいきます。またRIZAPグループとのシナジーを最大限に活用することで、増収増益を果たす所存であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、4,155百万円(前事業年度末は3,633百万円)となり、522百万円増加しました。

流動資産は、3,623百万円(前事業年度末は3,186百万円)となり、436百万円増加しました。これは現金及び預金の増加(20百万円)、商品及び製品の増加(281百万円)、受取手形及び売掛金(純額)の増加(32百万円)及びその他の増加(104百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、532百万円(前事業年度末は446百万円)となり、85百万円増加しました。これは無形固定資産の減少(6百万円)があったものの、有形固定資産の増加(65百万円)及び投資その他の資産の増加(26百万円)があったことによるものであります。

流動負債は、2,815百万円(前事業年度末は2,463百万円)となり、352百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金の増加(178百万円)、短期借入金の増加(61百万円)及びその他の増加(94百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、664百万円(前事業年度末は551百万円)となり、112百万円増加しました。これはリース債務の減少(13百万円)及びその他の減少(15百万円)があったものの、長期借入金の増加(141百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、675百万円(前事業年度末は617百万円)となり、57百万円増加しました。これは新株予約権の減少(11百万円)があったものの、利益剰余金の増加(64百万円)及び繰延ヘッジ損益の増加(1百万円)等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成28年8月10日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳しくは、本日(平成29年5月15日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912	933
受取手形及び売掛金(純額)	666	698
商品及び製品	1,061	1,343
仕掛品	26	26
原材料及び貯蔵品	77	74
その他	441	546
流動資産合計	3,186	3,623
固定資産		
有形固定資産	231	297
無形固定資産	49	43
投資その他の資産	165	191
固定資産合計	446	532
資産合計	3,633	4,155
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	382	560
短期借入金	1,798	1,860
未払法人税等	3	2
引当金	18	36
その他	260	354
流動負債合計	2,463	2,815
固定負債		
長期借入金	413	554
リース債務	72	59
受入保証金	29	28
引当金	2	3
その他	33	18
固定負債合計	551	664
負債合計	3,015	3,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	78	79
資本剰余金	386	388
利益剰余金	223	288
自己株式	△82	△82
株主資本合計	606	674
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	—	1
評価・換算差額等合計	—	1
新株予約権	11	—
純資産合計	617	675
負債純資産合計	3,633	4,155

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	4,581	5,037
売上原価	2,656	2,748
売上総利益	1,924	2,288
返品調整引当金戻入額	6	5
返品調整引当金繰入額	5	5
差引売上総利益	1,925	2,288
販売費及び一般管理費	1,872	2,125
営業利益	52	163
営業外収益		
その他	1	5
営業外収益合計	1	5
営業外費用		
支払利息	20	21
株主関連費用	12	32
その他	11	9
営業外費用合計	43	64
経常利益	10	104
特別利益		
新株予約権戻入益	—	11
その他	—	0
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産除却損	—	1
減損損失	1	12
その他	0	0
特別損失合計	1	13
税引前四半期純利益	9	102
法人税等合計	2	37
四半期純利益	6	64

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年9月29日開催の定時株主総会に基づき、繰越利益剰余金の欠損補填を目的として、資本準備金270百万円をその他資本剰余金へ振り替えております。また、その他資本剰余金976百万円を繰越利益剰余金に振り替えております。

当第3四半期累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。